

## 第52回 日本PTA関東ブロック研究大会とちぎ大会

「高めよう 家庭の教育力 子どもと共に学び成長する PTA」のスローガンのもと、11月14日（土）に宇都宮市総合文化センターで式典が行なわれました。各県の会長、および事務局など代表者が集まったの縮小した会となりましたが、栃木県PTA連合会の皆さんの熱い気持ちが伝わる式典となりました。

栃木県PTA連合会会長の金田様の挨拶の中に、「コロナ禍におけるハイブリッド型の大会」という言葉がありました。今回のとちぎ大会は、コロナ禍における新たな大会のあり方を示していただいたように思います。

式典の初めには、アトラクションとして戦隊ヒーローに扮したPTA役員のおOBの方が、会を盛り上げてくださいました。役員を終えても当時の仲間とこの戦隊ヒーローに扮して、学校を回り子どもたちに人権教育、環境教育に取り組まれているそうです。その姿に、頭が下がる思いでした。

今回のとちぎ大会については、動画配信という形になりましたが、このレセプションの様子や大会までの道のりなどもアップされています。是非、その熱い思いも動画から感じていただけたらと思います。

会の中で、令和元年度をもって退任された会長、事務局長に感謝状の贈呈がありました。本会顧問、日P常任理事として引き続き活躍されている大島修様が謝辞を述べられました。

そして、次年度の開催地の埼玉県に大会旗が引き継がれました。

最後に、実行委員長の揚石様が、こみ上げるものをこらえながら今大会に苦  
労されたことなどをお話しされました。とちぎ県のPTAの役員のみなさんが  
手を取り合い、素晴らしい会を実施されたことに対して、会場より大きな拍手  
が送られました。 (事務局 池田 純一)

